

月刊 やちまなこ

2018. 5.15 発行

No.246

5月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

枯草色が残る湿原に新緑が目立ち始め、春を告げる草花が次々と咲くころとなった。丘陵地の林もキタコブシやエゾヤマザクラの花が彩りを添え、夏鳥たちの鳴き声が湿原に広がる。釧路と稚内は12日にエゾヤマザクラの開花宣言をした。昨年より2日早いようだ（すでに我が町標茶町は先週から見ごろだった）。湿原の春風に揺れながら、空いっぱいに広がるエゾヤマザクラの花に新たな命の躍動を感じた。



塘路フィールドノート【4/15～5/14】

【野鳥】

早春、塘路湖やシラルトロ湖を賑わせていた水鳥たちは北の繁殖地へと旅立ちましたが、入れ替わるようにやってきた夏鳥たちのさえずりで湖畔は賑やかです。樹々に緑が戻る前の今時期は、野鳥観察が非常に楽しい時期です。



ノビタキ (塘路湖畔)

樹上でさえずる♂。この時期はなわばりを主張して目立つところにもよく出てきます



ウグイス (コッタロ湿原)

声は聞こえどなかなか姿を見せなかったウグイス。しばらく粘ってようやく姿を確認！



コムクドリ (シラルトロ湖畔)

いつ見ても鮮やかなカラーリングのコムクドリ。餌を探して歩き回る姿をよく見ます



ベニマシコ (塘路湖畔)

繁殖期を迎えて体が真っ赤に染まった♂。近くにいた♀を追いかけていたようです



センダイムシクイ (コッタロ湿原)

元気にさえずっていた♂。「チヨチヨビィー」の名調子が湿原に響き渡っていました



ニュウナイスズメ (シラルトロ湖畔)

湖畔の木に飛来したところ。(たの)スズメかと思いきや、ニュウナイの♂でした

【植物】

塘路湖畔に花の季節がやってきました。まだまだ開花している花は少ないですが、晩春から初夏の植物が次々に芽を出し開花の準備を進めています。まだ枯れ色が目立つ春の野ですが、少しずつ明るい色彩が戻ってきています。



エゾエンゴサク (塘路湖畔)
湖畔歩道沿いの白花。周辺では水色や紫色の個体が目立ちますが、まれに白花もあります



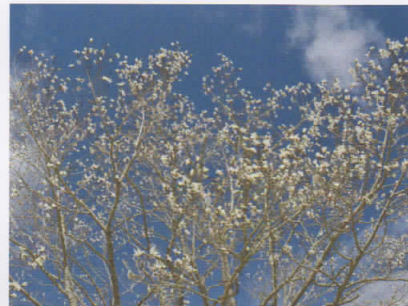
キジムシロ (コッタロ湿原)
コッタロ湿原に花シーズンの到来を告げる花。展望台や道道沿いで沢山見られます



ミズバショウ (シラルトロ湖畔)
ちょうど見頃を迎えていました。意外にも周辺では見られる場所が少なく、レアな花です



レンプクソウ (塘路湖畔)
春を代表する地味な花。ふと気づいたら、湖畔歩道沿いのあちこちで開花していました



キタコブシ (塘路湖畔)
元村キャンプ場で見られるキタコブシ。大きな花をたくさん咲かせ白く染まっていました



ヤチボウズ (コッタロ湿原)
コッタロ展望台周辺のビッグなヤチボウズ。てっぺんではカブスゲが開花していました

【昆虫】

5月に入って、昆虫の姿を見かける機会が多くなりました。長い冬を越したチョウやマルハナバチの女王たちにとって待望の春到来です。日に日に暖かさを増す日差しの中、虫たちは元気に湖畔を飛び回っています。



エルタテハ (シラルトロ湖畔)
塘路湖周辺で最も早く出現するチョウの一つ。草原や森など様々な場所で見られます



クジャクチョウ (塘路湖畔)
センターの外壁に止まっていた個体。エルタテハと同様、春の早い時期から見られます



エゾスジグロシロチョウ (塘路湖畔)
例年GWの頃に出現するチョウ。シロチョウが飛ぶと、春本番という感じがします

■シラルトロ湖で水鳥観察 (早春の湿原 野鳥観察会)



4月21日(土)、水鳥たちで賑わうシラルトロ湖で野鳥観察会を行いました。出発後すぐに湖畔にタンチョウが一羽いるのを発見。すると、そのすぐ近くにはアオサギの小群。さらにはコガモの群れにマガモやヒドリガモなど、あちこちで顔を出す野鳥たちの観察で、息つく暇もないほどの忙しさ。また、やや遠かったものの、対岸にはオオハクチョウやヒシクイも見られるなど、春の水鳥たちの饗宴を堪能することができました。その後は蝶の森へと移動し、森の中の小鳥を観察しました。夏鳥の姿は見られなかったものの、ゴジュウカラやシジュウカラなどのさえずに耳を澄まし、元気よく動き回る姿を目で追ううちにあっという間に時間となり、最後に全員で鳥合わせをして終了となりました。この日は昨年(15種)よりも多い21種の野鳥を観察できました。(参加者18名)

■夏鳥を探して（春の湿原 野鳥観察会）

夏鳥の声が聞こえ始めた5月4日（祝）、前回と同じシラルトロ湖・蝶の森で野鳥観察会を開催しました。当日はまずまずの天候に恵まれ、多くの野鳥の登場が期待できそうな観察日和でした。出発後、さっそくカラ類の群れに囲まれるとともに、道沿いのトビの巣で親鳥が卵を抱いている姿を観察できました。その後、蝶の森へ入る手前でアオジ・ノビタキ・ニュウナイスズメなどの姿が見られ、さらに森の中ではウグイスやムシクイ類の鳴き声も聞こえてくるなど、期待どおり順調に夏鳥と出会うことができました。

全体を通して多くの野鳥に出会えた観察会でしたが、一つ残念だったのは観察される野鳥がやや特定の種に偏り、例年よりも確認種が少なかったこと。それでも、次々に現れる小鳥たちの活発な動きと元気なさえずりの声を存分に楽しむことができ、良い観察会となりました。（参加者9名）



6月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎新緑の湿原 野鳥観察会

【日 時】 6月2日（土）10時～12時

【定 員・参加料】 15名 無料

【開催場所】 シラルトロ湖・茅沼蝶の森周辺（集合は憩いの家かや沼駐車場）

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎初夏の花を見に行こう

【日 時】 6月10日（日）10時～12時

【定 員・参加料】 15名 無料

【開催場所】 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター（0154-65-2323）まで

◆日出・日入時間 4/15(4:42,18:04). 4/30(4:18,18:22). 5/14(4:01,18:37)

～編集後記～

■先月29日の午後1時ごろ、塘路湖畔丘陵地にあるサルボ展望台付近の沢から煙が上がっているのが見えました。一時空高く青白い煙が上がりましたが、2時過ぎには無事に鎮火したようです。この時期は空気が乾燥して野火が発生しやすくなっています。

枯草が残る湿原や周辺の林では野鳥も繁殖期を迎えていて、キャンプや釣り、山菜採りなど、野外で火を使う機会が多くなりますが、火の取り扱いには十分注意して下さい。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL：015-487-3003 FAX：015-487-3004

E-mail：emc@hokkai.or.jp

開館時間：10：00～17：00

（11～3月：16：00まで）

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料